

### 代表質問(要旨)



議員 菊池 敏行  
いばらき自民党  
日立市選出  
一括方式

#### 医学部入学定員の拡大

**議員** 医師不足を解消するため、地域枠による医学部入学定員の拡大とそれに係る教育環境の整備を一層進めるべきである。さらに、卒業後、専門医を取得し、医師として成長していきけるような対策を講じることが、直面する医師不足の改善につながると考えるが、所見は。

**知事** 筑波大学との間で医学部の定数上限百四十人まで定員を拡大し、地域枠の定数を十三人から三十六人に拡大できるように、協議を進めている。今後は、必要な教育環境整備を支援し、上限までの定数増の実現を図るほか、若手医師が地域医療への従事義務の履行と専門医資格の取得が両立できるように、後期研修プログラムやモデルキャリアパス<sup>※</sup>の作成などを進めていく。

●質問者	10月8日(火)	菊池 敏行 (いばらき自民党)
		佐藤 光雄 (民主)
	10月9日(水)	井手 登 (自民県政クラブ)
		義弘 (公明)

## 第3回定例会の主な日程

平成25年第3回定例会は、次の会期日程で開催されました。

- 10月3日(木) **本 会 議**  
(開会、知事提出議案説明)
- 10月8日(火) **本 会 議**  
9日(水) (代表質問・質疑)
- 10月10日(木) **本 会 議**  
11日(金) (一般質問・質疑)  
15日(火)  
16日(水)
- 10月17日(木) **常 任 委 員 会**  
18日(金)
- 10月21日(月) **本 会 議**  
(予算関係議案常任委員長報告等)
- 10月22日(火) **決算特別委員会**
- 10月23日(水) **予算特別委員会**
- 10月24日(木) **調査特別委員会**  
通学児童生徒の安全確保に関する調査特別委員会を開催し、調査を行いました。
- 10月28日(月) **本 会 議**  
(委員長報告、採決、閉会)

#### 六期目の抱負と決意

**議員** 震災復興をはじめ、県北地域の振興や高齢者を狙った詐欺、いじめ・体罰問題など、課題が山積しているが、新たな発想で、思い切った施策を打ち出し、明るい未来へと扉を開いていかなければならない。六期目の県政運営について、知事の抱負と決意を伺う。

**知事** 震災・原発事故からの復興に全力を尽くす。本県の将来を見据え、地域の活力を生み出す産業大県づくり、その成果を福祉や教育などにいかす生活大県づくりを進め、日本の発展の一翼を担えるような強いいばらき、世界に開かれたいばらきの実現に向け、柔軟な発想とチャレンジ精神を持って取り組む。

#### 観光誘客の促進

**議員** 県内隅々まで観光による賑わいや消費が戻るよう、周遊観光の促進や観光客の満足度を高める取り組みなどに一層力を入れる必要がある。シーニック・バイウェイ<sup>※</sup>の県北地域での展

開も含め、観光誘客の促進にどのように取り組むのか。

**知事** 今年度は、プレミアム付き宿泊券を販売し、本県への宿泊需要の喚起に努めている。県北地域には、魅力ある場所が多く、これらを活用し、シーニック・バイウェイとすることは十分可能と考える。地域の活動状況を踏まえ、県北地域での実現に向け支援していく。さらに、地域でのおもてなしの浸透を重点的に進める。

#### 国体開催に向けた取り組み

**議員** 国体開催に向けては、賜杯の獲得を目指し総力を挙げて競技力の向上に取り組むべきである。また、基幹的な県営施設の整備は、復興のシンボルとなるようメリハリの効いた対応が必要である。国体を成功させるため、どのように取り組むのか。

**知事** ジュニア層を対象に、オリンピックなどで活躍した選手による出前講座や体験教室、また筑波大学との連携による能力開発プログラム事業などを進めている。会場施設については、



若手医師の教育研修の推進が重要

#### 重要港湾の整備と振興

**議員** 茨城港及び鹿島港は、北関東及び首都圏北部の経済と暮らしを支える重要な物流基盤である。本県港湾の発展は、港湾の整備と振興が相乗的に作用し合うことで可能になる。本県港湾の機能強化と振興策は。

## 通学児童生徒の安全確保に関する調査特別委員会

### 通学児童生徒の安全確保に向けた今後の対応などについて活発に議論

児童生徒などを通学時の交通事故や事件の被害から守り、暮らしの中の安全と安心が一層高まるような諸施策のあり方について調査検討するため設置された「通学児童生徒の安全確保に関する調査特別委員会」(小川一成委員長)は、これまで精力的に調査を行い、七回の委員会を開催してきました。

そのうち、第四回となる七月二十四日の委員会では、通学児童生徒の安全確保に向けた今後の対応などについて、調査・審議を行い、九月九日には、国土交通省、文部科学省、本田技研工業株式会社から参考人と呼んで意見聴取を行いました。さらに、九月二十四日には参考人からの意見なども踏まえ、安全な道路環境整備のあり方と安全教育のあり方などについて、調査・審議を行いました。



そして、報告書の取りまとめに向け、十月二十四日には提言の骨子について、十一月十三日には報告書について協議しました。

今後も、通学児童生徒などの安全・安心のため、精力的に調査を続ける予定です。

#### 質問方式について

平成二十四年第一回定例会から分割方式が導入され、議員は次のいずれかの質問方式を選択できるようになっています。

- 一括方式  
質問項目すべてについて一括して質問し、一括して答弁を求めめる方式。
- 分割方式  
質問項目ごとに分割して質問し、その都度、答弁を求めめる方式。

※【モデルキャリアパス】…地域医療の経験を積みながら、専門医として能力を高めることができるよう、どのような医療機関で勤務していくかの道筋などを示したプラン。  
※【シーニック・バイウェイ】…魅力ある景観を活かし、地域が主体となって、観光振興や地域の活性化を目指す活動。